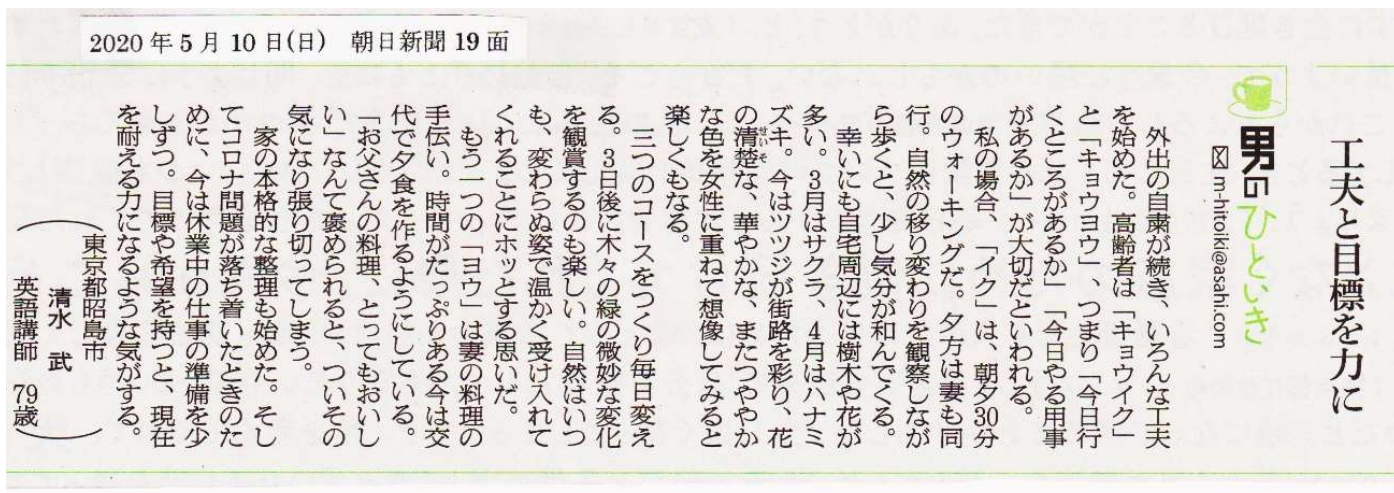


「男のひといき」(朝日新聞)にプラス「ひとこと」

5月10日付け朝日新聞の「男のひといき」欄に拙稿が掲載されました。緊急事態宣言が延びたなかで私なりの工夫の紹介です。500字前後との字数制限で入れられなかった部分を下記に綴りました。プライベートも含め少々くだけています。写真と一緒に楽しんでいただければ幸いです。(80%に縮小で文字が小さく申し訳ありません)



運動不足で毎日ウォーキングをしていますが歩くだけだとつまらない。家の周囲には樹木や花が多く特に「市の花・ツツジ」はいたるところで咲いています。そこで花にそっと触りながら色や雰囲気を女性に見たててみました。

不謹慎？ いや、そんなことはないでしょう。2008年『赤毛のアン』出版100周年に物



語の舞台・カナダのプリンスエドワード島を取材で訪れましたが、主人公のアンは目に映った木々や草々に“想像力”でいろんな名前を付けています。夢は人生を楽しくさせてくれます。遊び心も大切です、なんちゃって・・・。

次ページの写真のキャプションをご覧ください。皆さまの“想像力”からく花の喩えはどんな感じでしょうか。

料理は定年になった年にすぐにクッキングスクールに通いました。今それが熟年人生をグッと豊にしてくれているのを実感しています。

「エッ、料理もできるの？」との友人の質問に「そうねえ、和・中・洋で計100以上のレシピがあるかなあ！」なんて少し大袈裟な返事をして、その流れで「今は『男厨房に入るべし』の時代じゃないかなあ？」なんて勧めたりもしています。



新聞に載ったレシピを見て美味しそうだと妻に「よし、今日の夕食はボクがやってみようか」なんて。在宅が多くなるこんな時にはとても助かっています。

地元の中学校で、在住外国人の生徒に英語で日本語を教えていましたが、緊急事態宣言

の延長で学校再開にはいたっていません。市のシニア向けの英会話教室も 9 月まで延期で 5 月のカレンダーはほぼ白紙のまま。でもコロナが落ち着いたら東京都観光ボランティアとして都庁での外国人向けのガイドも始まるだろうし、すでに何回もの研修会があったオリンピックの大会ボランティアも明年には待っています。今はNHKの英語番組などの勉強も少しずつ。創価学会員としての活動も今は電話やメールで連絡を取り合ったり手紙を書いたり。在日外国人メンバーとは ZOOM というパソコン画面で相手の顔を見ながらトークという体験も新鮮です。

医療現場や厳しい環境の中で頑張ってくださっている方々の無事を祈り心から感謝しつつ、この歳で健康で少しでも社会の役に立てることに感謝しつつ、自分なりの目標と希望を掲げて頑張っているところです。真面目すぎるかなあ？



未婚の無垢な若い女性



新婚さんか恋愛中のカップル



何事にも活動的な女性



キャリアウーマン



高貴な夫人またはインテリ



包容力のあるおらかな家庭婦人